

『感染症疫学のためのデータ分析入門』 第1版第1刷

正誤表

(2022年1月現在)

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠に有難うございます。本書に以下の誤りがございましたので、深くお詫び申し上げますとともに、下記のように訂正させていただきます。

株式会社 金芳堂

訂正箇所	誤	正
005頁 第1章 図2内	暴露しているが	曝露しているが
022頁 第2章 図4 縦軸ラベル	感染症	感染性
022頁 第2章 下から6行目	pre-infections	pre-infectious
027頁 第2章 図7 縦軸	感染者数	頻度（発病確率）
031頁 第2章 下から5行目	排絶	排除
042頁 下から7行目	人口全体の1/3が予防接種により	人口全体の2/3が予防接種により
071頁 第5章 5行目	もし100%陽性、かつ100%陰性	もし100%真の感染、かつ100%真の非感染
89頁 章末確認問題 問題1表 60歳以上 感染していない人数	32	34
93頁 中段	受動免疫（passive immunity） 自然感染や予防接種の後に起きる 免疫反応	能動免疫（active immunity） 自然感染や予防接種の後に起きる 免疫反応
93頁 中段	能動免疫（active immunity） 自然に母乳や胎盤を通じて母から 胎児へ免疫グロブリンが伝達	受動免疫（passive immunity） 自然に母乳や胎盤を通じて母から 胎児へ免疫グロブリンが伝達
156頁 第9章 5行目	の大きい方	2つ算出される固有値の大きい方
157頁 第9章 12行目	式(9-10)に相当する	式(9-9)に相当する

213 頁 4 行目	後者はさらに (受動) 免疫と (能動) 免疫に分類できる。	後者はさらに (能動) 免疫と (受動) 免疫に分類できる。
------------	--------------------------------	--------------------------------

訂正箇所 183 頁下から 10 行目～13 行目

誤

```
## 感染から確定診断までの報告遅れの分布を定義する。
infectionreport <- function(t, tau){sum(convolve(onsettolabconf(1:today-t+tau),
                                               rev(incubation(1:today-t+tau)),type = c("open")))}
```

正

```
## 感染から確定診断までの報告遅れの分布を定義する。
infectionreport <- function(t, tau){sum(convolve(onsettolabconf(1:1000),
                                               rev(incubation(1:1000)),type = c("open"))[1:(today-t+tau)])}
```

* 書誌頁 (<https://www.kinpodo-pub.co.jp/book/1882-2/>) で公開している R スクリプトも修正していません。